

過去の万博活用事例（岡山県倉敷市児島）

0. 取組の発端

- (1) 1993年通商産業省(当時)が新繊維ビジョンにおいて、繊維産地活性化策として「ファッションタウン構想」提唱
- (2) 児島商工会議所が中心となり、1999年「ファッションタウン児島 推進協議会」設立



ファッションタウン児島基本構想・ビジョン2001

1. 2005年日本国際博覧会(愛・地球博、愛知万博)への出展

「クリエイティブ・ジャパン」展示ブースにおいて、初めてジーンズのみをテーマとして児島をPR、「日本のジーンズ発祥の地、児島」を発信。日本全国・世界での認知が始まった。(1960年代に児島で国産ジーンズの生産開始)



愛・地球博「クリエイティブ・ジャパン」展示・ファッションショー

2. ジーンズストリートとしての展開 <http://jeans-street.com/>

- ・2009年「児島ジーンズストリート推進協議会」設立(児島商工会議所とジーンズメーカー2社)
- ・2013年「児島ジーンズストリート協同組合」設立
当初は販売店舗も限定され、現地での直接ジーンズ購入が困難であったが、商店街の空き店舗に誘致を行い、現在は約40店舗のジーンズ関連ショップが立地。「ジーンズの聖地」児島と呼ばれる。
- ・2015年 ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに「日本のジーンズの都」として掲載
- ・2017年 経済産業省「はばたく商店街30選」に掲載



児島ジーンズストリート

3. 「児島産地丸ごとブランド化」産業観光の取組

- ・2017年 観光・産業情報サイト、「こじまさんぽ」作成 <https://www.kojima-sanpo.jp/>
- ・2021年 ガイドブック「児島社会科倶楽部」作成
児島地域を「駅周辺」「味野」等8つのエリアに分け、産業観光に取り組む「ものづくり」を中心とした事業所をPRするガイドブックを作成し、JR児島駅等に設置。



産業観光ガイドブック